

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和4年11月30日(2022.11.30)

【公開番号】特開2021-187877(P2021-187877A)

【公開日】令和3年12月13日(2021.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2021-060

【出願番号】特願2020-91225(P2020-91225)

【国際特許分類】

C 08 L 83/07(2006.01)

10

C 08 L 83/05(2006.01)

C 08 K 5/3475(2006.01)

C 08 K 5/05(2006.01)

C 08 K 3/36(2006.01)

【F I】

C 08 L 83/07

C 08 L 83/05

C 08 K 5/3475

C 08 K 5/05

C 08 K 3/36

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月21日(2022.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

(E-2)成分中のアルケニル基含有鎖状オルガノポリシロキサンは、ケイ素原子に結合する全置換基の合計に対するアルケニル基の割合が20モル%以上であるアルケニル基含有鎖状オルガノポリシロキサンであり、例えば、下記平均組成式(a)で表され、特に、下記一般式(2)で示される構造が好ましい。

30

R_cV_idS_iO(4-c-d)/2 (a)

(式中、Rは互いに同一又は異種の炭素数1~10、好ましくは1~8の非置換又は置換の芳香族基を含まない一価炭化水素基である。また、cは0.7~2.1、dは0.001~1.0で、かつc+dは0.8~3.0を満足する正数である。)

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0134

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0134】

50

【表1】

項目	単位	実施例					
		1	2	3	4	5	
組成物X 制御剤添加量	部	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	
組成物X 制御剤／Pt原子	mol／mol	91	91	91	456	91	
混合比率	組成物X	%	50	60	70	50	
	組成物Y	%	50	40	30	50	
せん断粘度0.9S-1	初期 η_0	Pa·s	1100	1040	1040	1040	
	24hr後 η_{24}	Pa·s	1300	3820	4180	1150	
硬化性 初期	T10	sec	31	30	31	31	
	T90	sec	58	55	58	58	
	T90-T10	sec	27	25	27	28	
硬化性 80°C、3日経過後	T10	sec	31	31	29	32	
	T90	sec	59	60	60	59	
	T90-T10	sec	28	29	31	28	
射出成型機評価	2日間、充填した まま放置	組成物の様子	液状	液状	液状	液状	
		成型再開の 可否	可	可	可	可	
項目		単位	比較例				
			1	2	3	4	
組成物X 制御剤添加量	部	—	—	—	—	0.31	
組成物X 制御剤／Pt原子	mol／mol	—	—	—	—	48	
混合比率	組成物X	%	50	50	60	70	
	組成物Y	%	50	50	40	30	
せん断粘度0.9S-1	初期 η_0	Pa·s	1030	1010	1030	1030	
	24hr後 η_{24}	Pa·s	硬化	6300	硬化	硬化	
硬化性 初期	T10	sec	31	31	31	39	
	T90	sec	58	59	60	66	
	T90-T10	sec	27	28	29	27	
硬化性 80°C、3日経過後	T10	sec	31	31	32	40	
	T90	sec	58	58	59	60	
	T90-T10	sec	28	28	27	28	
射出成型機評価	2日間、充填した まま放置	組成物の様子	硬化	高粘度	硬化	硬化	
		成型再開の 可否	否	否	否	可	

10

20

30

40

50